



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要					
建物名称	株式会社国太楼 第四工場	BEE	0.6	BEEランク	B-
				★★	

2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.4	/5	がんばんろう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.4	/5	ふつう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.4	/5	がんばんろう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	1.7	/5	がんばんろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばんろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目			
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。					
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	2.4		
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①③室内環境対策として、開口部にガラスを用いず、熱負荷の低減を図った。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤既存の樹木の保全に配慮した。</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨LED照明を全室に採用した。</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑫地業工事における砕石に再生クラッシュランを採用した。 ⑬掘削土を埋め戻し土や地盤養生に再利用する計画とした。</p> <p>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 大気汚染に係るガス又はばいじんを排出しない計画としている。</p>	Q-1	2	2.1	2.1.2	① 外皮性能
	Q-1	3	3.1	3.1.3	② 昼光利用設備
			3.2	3.2.1	③ 昼光制御
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④ 躯体材料の耐用年数
			2.2.2	④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔	
			2.2.3	④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
			2.2.4	④ 空調換気ダクトの更新必要間隔	
			2.2.5	④ 空調・給排水配管の更新必要間隔	
			2.2.6	④ 主要設備機器の更新必要間隔	
	Q-3	1		⑤ 生物環境の保全と創出	
		3	3.2	⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	LR-1	1		⑦ 建物外皮の熱負荷抑制	
		2		⑧ 自然エネルギー利用	
		3		⑨ 設備システムの高効率化	
		4	4.1	⑩ モニタリング	
			4.2	⑩ 運用管理体制	
	LR-2	1	1.1	⑪ 節水	
			1.2	⑪ 雨水利用システム導入の有無	
			1.2.1	⑪ 雑排水等利用システム導入の有無	
			1.2.2	⑪ 材料使用量の削減	
		2	2.1	⑫ 既存建築躯体等の継続使用	
			2.2	⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用	
			2.3	⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
			2.4	⑫ 持続可能な森林から産出された木材	
			2.5	⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み	
			2.6	⑫ 有害物質を含まない材料の使用	
		3	3.1	⑬ 消火剤	
			3.2	⑬ 断熱材	
			3.2.1	⑬ 断熱材	
			3.2.2	⑬ 断熱材	
			3.2.3	⑬ 断熱材	
			3.2.3	⑬ 断熱材	
	LR-3	1		⑭ 地球温暖化への配慮	
		2	2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	3.4		
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑰空調設備機器等に防振架台を計画した。</p>	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯ 耐震性
					2.1.2
			2.4	2.4.1	⑰ 空調・換気設備
				2.4.2	⑰ 給排水・衛生設備
				2.4.3	⑰ 電気設備
				2.4.4	⑰ 機械・配管支持方法
				2.4.5	⑰ 通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点	2.4		
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳階高についてゆとりを持った計画とした。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑幹線道路から敷地内が確認できるよう視認性に配慮した。</p>	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画
			3	3.1	3.1.1
				3.1.2	⑲ 空間の形状・自由さ
	Q-3	3	3.1		㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	1.7		
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) ㉒空調設備を屋上に設け排熱を高い位置から放出する計画とした。</p> <p>■敷地外環境対策 (㉓持続可能な森林から産出された木材/㉔温熱環境悪化の改善) 特になし。</p>	Q-3	1		⑳ 生物環境の保全と創出	
			2		㉑ まちなみ景観への配慮
			3	3.2	㉒ 敷地内温熱環境の向上
	LR-2	2	2.5	⑳ 持続可能な森林から産出された木材	
	LR-3	2	2.2	㉔ 温熱環境悪化の改善	

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築評価2021年SDGs対応版 評価版

■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社国太楼 第四工場	階数	地上5F
建設地	静岡県菊川市富田600-1 外7筆	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	33 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,200 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年9月 予定	評価の実施日	2024年7月2日
敷地面積	7,053 m ²	作成者	有馬 慎介
建築面積	562 m ²	確認日	202●年●月●日
延床面積	2,173 m ²	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 86%

③ 上記+②以外の: 86%

④ 上記+: 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR のスコア = 2.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2021年SDGs対応版)による評価結果である。 ゆとりがあり維持管理のしやすい空間とすることで環境品質が向上するように努めた。		その他 特になし
Q1 室内環境 有害物質に配慮した建材を採用することで安全な室内空間を実現した。	Q2 サービス性能 空間にゆとりを持たせることにより機能的で使いやすい空間とした。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 消費電力の少ないLED照明を採用している。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料の使用や再生材利用、発生材の再資源化を図り、環境負荷の低減を行った。	LR3 敷地外環境 周辺敷地に大きな影響を与えない計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される